

不適合情報

2018年9月3日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. G I グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全の観点から見たグレード
1	1号機	非常用ディーゼル発電機(B)を定例試験のために起動し確認運転を実施していたところ、異音の発生および発電機出力の低下を確認したため、手動停止した。当該事象の原因を調査。なお、1号機非常用ディーゼル発電機の保安規定に基づく必要台数は確保されている。【2018年8月30日公表済み】 http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/press/pdf/2018/30083001p.pdf	G I

2. G II グレード 0件**3. G III グレード 3件**

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	5号機	サービス建屋入口玄関ホール(非管理区域)の天井部および照明器具部より微量の雨水の滴下を確認した。拭き取りおよび照明器具の電源切を実施済み。雨水の浸入箇所を特定し点検・修理。	
2	その他	大湊側焼却炉二次バーナーの点検に伴う焼却炉の起動中、バーナー燃焼空気ブロワのシャフトカバーより凝縮水の漏れ(約2リットル、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該事象の原因を調査。	
3	その他	環境管理棟にある原子吸光光度計での試料測定時、異常を示す表示の発生を確認した。当該事象の原因を調査。	